

# 携帯メールメッセージの談話分析

## — 勧誘と依頼の表現による検討 —

渡 邊 知 佳

### 1 問題と先行研究

携帯メールは現代の若者にとって重要なコミュニケーション・ツールだと考え、本研究では携帯メールに焦点を当てる。そして携帯メールによるやりとりを談話と捉え、その特徴や傾向を分析する。さらに分析対象を「依頼」「勧誘」のやりとりに限定し、現在の大学生が良好な対人関係を維持するために、携帯メールによるやりとりにおいて行っている配慮表現を分析する。また話段の出現に着目して、メール会話の全体構造を検討する。

三宅(2011)は、携帯メールの談話的特徴について、タイムラグが少なく、文末や文頭に会話らしい表現があること、絵記号類の使用によって会話らしいリズムが作りだされていることを述べている。そして、やりとりの相手が誰であるかがはっきりしているため、挨拶を交わされることが少ないというところが対面会話と異なっていると指摘した。

また三宅(2011)は、若者がメールをするときに問題回避の志向性が強く、若者なりの気遣いを行っていることを明らかにした。さらに配慮表現に関する研究について、「近年になり、語彙や形式、文法的な規則だけではなく、場面に応じた表現の選択にも焦点が当てられ、話し手と聞き手の関係、状況、心理、性差などのさまざまな要因が考察に組み入れられるようになってきた。」と述べている。

柳(2012)は依頼談話について「目的達成のためとはいえ、あまりに相手に強く押し付けると相手との関係が気まずくなる。その一方で、相手配慮の面が強くなりすぎると目的達成が弱くなる恐れもあり、2つを両立させることは容易ではない」と述べている。

これらの先行研究を踏まえ、本研究においてもメール会話の参加者の配慮表現について、語彙や形式、文法的な規則だけではなく、場面に応じた表現の選択に焦点を当て、両者の関係、状況、心理、性差などを要因として考察していく。

### 2 研究の対象と方法

#### 2.1 研究の対象

##### a. 調査協力者

上越教育大学の学部4年生で、男性3名、女性7名の計10名に、実際にやりとりしたメールを提供してもらった。メールのやりとりの相手は、大学生に限定し、送信者・受信者の男女は問わない。また、両者が大学生であればその学年についても問わない。やりとりの相手は他大学の学生も可とする。

## b. 調査期間

提供されたメールのやりとりが行われた期間は2012年～2013年で、やりとりの時間帯は統一されていない。

## c. 分析対象

本研究では三宅（2011）に倣い、表1のように分析の対象に単位を定める。

表1 分析対象の単位と、その定義

単 位	定 義	例
携帯メール	携帯電話で送受信されるメールの総称。	
1 メール会話	1人の相手との送受信を繰り返して終わるまでの、会話のようなひとまとまり。	【やりとり1】【やりとり2】というまとまり。
1 メール	1回に送信された／受信されたメッセージ。	1、2、3と番号が振ってあるまとまり。
1 文	1回に送受信されたメッセージの中で、意味的なまとまりをもち、絵文字・顔文字・記号や句点などで区切られている単位。	①、②、③と番号が振ってあるまとまり。

合計で20メール会話を収集した。そのうち、女性同士のやりとりは15メール会話、女性と男性のやりとりは2メール会話、男性同士のやりとりは3メール会話である。

## 2.2 研究方法

[1] 1文を1つの発話と捉え、その機能を分類する。

機能の分類は、ザトラウスキー（1993）の「談話における発話機能の種類」に倣い、本研究では「要求」「表示・提供」「関係作り・儀礼」「注目表示」の4つに分類する。

[2] 文の機能から、各文の対応関係を分析する。

前のメールのある文の内容を受けている文は、矢印（→）を用いてその対応関係を示す。本稿では【やりとり12】の分析表にのみ記入する。

[3] 文の対応関係から、話段を検討する。

本研究では、メール会話における話段を「メール会話の内部の文の集合体が内容上のまとまりをもったもの」と定義し、ザトラウスキー（1993）でみられた話段を参考にしながら、収集したメール会話の特性に合わせて話段を検討する。本研究で新たに設定した話段の中から、メール会話を構成する代表的な話段と、その認定基準を表2に示す。

[4] 話段を図式化する。

メール会話毎に、検討した話段の図式化を行う。話段を図式化することで、メール会話の全体的な構造を考察する。

[5] メール会話を構成する代表的な話段の出現の有無を、表にまとめる。

メール会話を構成する代表的な話段とは、「開始部の話段」「開始部に対する応答の話段」「状況説明の話段」「先行発話の話段」「勧誘／依頼の話段」「勧誘応答／依頼応答の話段」「条件調整の話段」「収束の話段」「終了の話段」「追加連絡の話段」である。表3を参照されたい。

表2 メール会話を構成する代表的な話段と認定基準

話 段	認 定 基 準
開始部の話段	ザトラウスキー（1993）の「開始の話段」とは異なる。相手の名前を呼び掛けたり、挨拶をしたりといった、本題に入る前のやりとりを指す。
状況説明の話段	メールの冒頭で、本題に入る前に、自分が現在置かれている状況について相手に報告している部分を指す。主に「開始部の話段」がないメール会話でみられた。
条件調整の話段	下位分類として、「日程調整の話段」「時間調整の話段」「代案提示の話段」などを規定する。勧誘応答や依頼応答をするなかで、両者が実行に向かって条件を調整していくやりとりを指す。
収束の話段	柳（2012）において規定されている話段である。「終了の話段」とは異なる。柳（2012）の認定基準を参考に、本研究においては勧誘や依頼に対してははっきりとした結論が出てから、やりとりが終了に向かうための発話を行う部分を指す。
追加連絡の話段	下位分類として、「遅刻連絡の話段」「出発連絡の話段」などを規定する。前のやりとりを受けて、時間を空けて追加で送られたメールの内容を指す。

[6] メール会話を構成する代表的な話段の出現の有無を、表にまとめる。

メール会話を構成する代表的な話段とは、「開始部の話段」「開始部に対する応答の話段」「状況説明の話段」「先行発話の話段」「勧誘／依頼の話段」「勧誘応答／依頼応答の話段」「条件調整の話段」「収束の話段」「終了の話段」「追加連絡の話段」である。表3を参照されたい。

### 3 配慮表現の分析

全20メール会話を、「勧誘の断わり」「勧誘の承諾」「依頼の断わり」「依頼の承諾」の4つに分類して、配慮表現の特徴を分析した。そのなかから、特徴的にみられた配慮表現を、各分類ごとに例を挙げながら述べる。

### 3.1 勧誘の断わり

#### a. 勧誘者の配慮

勧誘者の配慮は、「勧誘の話段」で特徴的にみられた。

勧誘者C		
1	①Eー (Eのあだ名)*+	} 開始部 (C 1①②)
	②久しぶり🐱	
	③元気にしてる？	→ 近況を尋ねる話段 (C 1③)
	④突然でごめん <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なんだけど、4月11日の夜って空いてる？</span>	→ 《突然のメールを詫げる発話》 } 先行発話 (C 1④)
3	⑤E (Eのあだ名)が元気でうれしいよ^^	→ 近況を尋ねる話段 (C 3⑤)
	⑥東京にさ、一緒に舞台見に行かない？	} 勧誘 (C 3⑥⑦⑧⑨)
	⑦夜7時から9時半までなんだ🎵	
	⑧おのれナポレオンって言って天海さんとか内野聖陽さんとか出るんだ📺	
	⑨どうかな🐱	

【やりとり3】の1メール目、3メール目である。「開始部の話段 (C 1①②)」から、「近況を尋ねる話段 (C 1③)」に移行し、丁寧な挨拶が行われている。「先行発話の話段 (C 1④)」の文頭に《突然のメールを詫げる発話》もみられる。

#### b. 被勧誘者の配慮

被勧誘者による配慮は、「勧誘応答の話段」で特徴的にみられた。

被勧誘者D		
2	①すごく行きたいけど、勉強やばいので諦めます🐱	→ 肯定的な態度 (D 2①)
	②就職したらいつか一緒に舞台見に行こ*+	→ 次回の勧誘 (D 2②)
	③せっかく誘ってくれたのにごめんね🙇🏻👉	→ 陳謝 (D 2③)

【やりとり2】の2メール目で、被勧誘者が勧誘応答をしたメールである。最初に勧誘に対する肯定的な態度を示してから勧誘を断わっている (D 2①)。そして、次回の勧誘を期待する発話 (D 2②) をして、勧誘を断わることについて陳謝している (D 2③)。

### 3.2 勧誘の承諾

承諾のメール会話では、被勧誘者による一貫した特徴的な配慮表現はみられなかった。これは勧誘を承諾したことで、勧誘者に配慮をする必要性がなくなったからではないかと考えられる。

それに対して、勧誘者による配慮は、条件調整の際に特徴的にみられた。

	勧誘者F	被勧誘者G
	④ ㊦(´▽`)㊦うわあい♪ ⑤ いつ空いてる (○'ω'○) ?	④ 今週は金曜日と水曜日以外なら空いてるよ \ (^o^)/ ⑤ 来週とかもかてきよある木曜日以外はお暇っす(笑)
	⑥ なるほど! ⑦ 実習の総括もお礼状も終わっていないが、私的にはこれから行くってのも <u>ありなの</u> <u>だが…</u> 笑	⑥ 今日はずすがにやばいっ(笑)
《勧誘の達成に否定的な発話》	⑧ <u>さすがに無理か</u> 笑	
共感 (F 7 ⑨)	⑨ <u>ですよ</u> ね笑 ⑩ 今週木曜はバイト??	⑦ 木曜日なんもないよー (^o^)

【やりとり4】の一部である。「日程調整の話段 (F 3 ⑤ - G 4 ④⑤ - F 5 ⑥⑦⑧ - G 6 ⑥ - F 7 ⑨⑩ - G 8 ⑦)」についてみていく。

F 5 ⑦で勧誘者は「今日カラオケに行きたい」という自分の意思をほめかしている。しかし、文末を「ありなのだが…」と濁し、さらに「笑」を付けることで、被勧誘者に負担の大きい唐突な提案を軽く位置付け、強制感のないようにしていると考えられる。そしてF 5 ⑧で《勧誘の達成に否定的な発話》をして、自分の提案を「無理」と自己評価したことに対する自嘲的な「笑」を付けることで、自分の意思を表明しながらも被勧誘者に断わる余地を与えている。さらに被勧誘者がそれに対して断わりを示す (G 6 ⑥) と、F 7 ⑨で「ですよね笑」と、断わりに対して共感を示している。

### 3.3 依頼の断わり

【やりとり9】と【やりとり10】に、多くの共通する配慮表現がみられた。

それぞれのメール会話の1メール目、2メール目、3メール目を併記して、配慮表現をみていく。

## 【やりとり9】

依頼者M	
1	①やほー\(^o^)/
	②突然 <u>なんだけど</u> 明後日5/7(火)にゼミの新歓で直江津のお店に行くことになってる <u>んだけど</u> 行き帰りの車だしを頼めないかな…(;´Д`)
	③行きが18:30電話BOXに集合出発で帰りが22:00くらい <u>なんだけど</u>

《突然のメールを詫げる発話》

依頼  
(M1②③)  
(O1③)

## 【やりとり10】

依頼者O	
1	①おつかれ~(*^^*)
	② <u>急なんだけど</u> 明日の夜23時ころ暇? (^ ^)
	③マネ会あって車だし <u>お願いしたいんだけど</u> (>_<)

先行発話  
(O1②)

それぞれのメール会話の1メール目、依頼者が送信したメールである。どちらも、2文目の文頭に《突然のメールを詫げる発話》(M1②、O1②)がみられる。そして、「依頼の話段」の文末が「…んだけど」という濁した形で終了している(M1③、O1③)。

## 【やりとり9】

被依頼者N	
2	①すまないMちゃん(Mのあだ名)!
	②その日はなんとコースの新歓なんです…③ <u>残念ながら</u> 手伝えない><④ <u>ごめんよ</u>

依頼応答  
(N2①②③④)  
(P2②③)

陳謝

(N2④) (P2③)

## 【やりとり10】

被依頼者P	
2	①お疲れ(^o^)*+
	②明日22時から部活だから、 <u>ちょっと微妙かも</u> (>_<)🐾
	③ <u>ごめんね</u> 💔

それぞれのメール会話の2メール目、被依頼者による返信である。【やりとり9】のN2③「残念ながら」という表現は、被依頼者はできることなら依頼に応えたいと思っていることを感じさせる。【やりとり10】は、依頼に対する返答を「ちょっと微妙かも」と濁し、はっきり断わることを避けている。2つのメールはどちらも最後に、陳謝の「関係作り・儀礼」の発話(N2④、P2③)をしている。

## 【やりとり9】

依頼者M	
3	④なんだってー\(^o^)/
	⑤こっちこそいきなりごめんよ！
	⑥新歓楽しんで！

## 【やりとり10】

依頼者O	
3	④りょーかい(^ ^)/
	⑤ごめんねー！(>_<)
	⑥部活ふあいと\(^o^)/

陳謝

依頼を断る理由に  
対する激励

それぞれのメール会話の3メール目、依頼者による返信である。どちらも、それぞれのメール会話において最後に送信されたメールである。どちらも被依頼者の断わりに対する反応に、笑顔の顔文字を使用している（M3④、O3④）。そして陳謝の「関係作り・儀礼」の発話（M3⑤、O3⑤）をし、最後に依頼を断る理由に対する激励をする（M3⑥、O3⑥）ことで、軽い雰囲気をつくっている。

## 3.4 依頼の承諾

勧誘の承諾と同様に、一貫した特徴的な配慮表現はみられなかった。そのなかで、依頼内容が似通った【やりとり15】と【やりとり16】に、いくつかの共通点がみられたので、併記してみたい。

## 【やりとり15】

被依頼者U	
2	①大丈夫ですよ👍!
	②では私が行きますね👍
	③お大事にして下さい(>_<)

## 【やりとり16】

被依頼者U	
2	①分かったよ👍
	②取っておく👍!
	③お大事にね(;_;

これらはそれぞれの2メール目、被依頼者による返信である。被依頼者は同じ人物（U）である。どちらのメール会話においても、まず依頼を承諾している（U2①）。そして依頼に対して自分が行うことを述べ（U2②）、最後に相手の体調を気遣う発話をして終了している（U2③）。

## 【やりとり15】

被依頼者T	
3	⑤ありがとう! ⑥ごめんね!

感謝

## 【やりとり16】

依頼者H	
3	④ありがとう! ⑤ごめんね (;_;

陳謝

それぞれのメール会話の3メール目、依頼が承諾された後、依頼者が送信したメールである。この2つのメール会話は、依頼者がそれぞれ異なるが、どちらも最初に感謝の「関係作り・儀礼」の発話（T3⑤、H3④）、次に陳謝の「関係作り・儀礼」の発話（T3⑥、H3⑤）を行っている。「関係作り・儀礼」の発話を重ねることで、より丁寧な相手配慮を行っている。

#### 4 全体構造の分析

##### 4.1 話段の出現

収集した20メール会話について、メール会話を構成する代表的な話段の出現の有無を表にすると、表3のようになった。

表3 各メール会話における話段の出現の有無

	開始部	開始部に対する応答	状況説明	先行発話	依頼／ 勧誘	依頼応答／ 勧誘応答	条件調整	収束	終了	追加連絡
やりとり1	×	×	○	×	○(勧誘)	○(断わり)	○	○	×	○
やりとり2	○	×	×	×	○(勧誘)	○(断わり)	×	○	×	×
やりとり3	○	○	×	○	○(勧誘)	○(断わり)	×	○	×	×
やりとり4	○	○	×	×	○(勧誘)	○(承諾)	○	○	×	×
やりとり5	○	×	×	○	○(勧誘)	○(承諾)	○	×	×	×
やりとり6	×	×	×	×	○(勧誘)	○(承諾)	○	×	×	×
やりとり7	×	×	×	○	○(勧誘)	○(承諾)	○	×	×	×
やりとり8	×	×	×	×	○(勧誘)	○(承諾)	○	×	×	○
やりとり9	○	×	×	×	○(依頼)	○(断わり)	×	○	×	×
やりとり10	○	○	×	○	○(依頼)	○(断わり)	×	○	×	×
やりとり11	×	×	×	○	○(依頼)	○(承諾)	○	○	×	×
やりとり12	○	△	×	○	○(依頼)	○(承諾)	△	○	○	×
やりとり13	○	△	×	○	○(依頼)	○(承諾)	○	×	×	○
やりとり14	×	×	○	×	○(依頼)	○(承諾)	×	×	×	×
やりとり15	○	×	×	×	○(依頼)	○(承諾)	×	○	×	×
やりとり16	○	×	×	×	○(依頼)	○(承諾)	×	○	×	×
やりとり17	○	×	×	×	○(依頼)	○(承諾)	×	×	○	×
やりとり18	○	×	×	×	○(依頼)	○(承諾)	×	×	×	×
やりとり19	○	×	×	×	○(依頼)	○(承諾)	×	○	×	×
やりとり20	×	×	×	×	○(依頼)	○(承諾)	×	○	×	○

両者の距離が近く、親しいほど、「開始部の話段」は省略されやすいようである。特に、「開始部に対する応答の話段」は頻繁に省略されている。

本研究で収集した20メール会話すべてに共通してみられたのは、「勧誘／依頼の話段」「勧誘／依頼応答の話段」のみであった。このことから、この2つの話段が勧誘／依頼のメール会話の最少の構成要素と考えられる。しかし、この2つの話段のみで構成されているメール会話は1つもなかった。このことから、親しい人が相手であっても、用件だけのメール会話は行われなるといえる。

20メール会話の中で、「終了の話段」がみられたのは2メール会話のみであった。このことから、相手配慮がより求められる勧誘と依頼のメール会話であるが、「終了の話段」はあまり重要ではないと考えられる。

断わりのメール会話では必ず「収束の話段」がみられ、断わりのメール会話では、「収束の話段」で配慮を示すことが重要であると考えられる。

## 4.2 話段の移行

表3でわかるように、本研究で収集したメール会話は、少なくとも3つ以上の話段で構成されていた。このことについて【やりとり12】の一部を例に挙げ、話段の種類を識別しやすくするため、話段の種類ごとに異なる下線を付して以下に示そう。

勧誘者 O	被勧誘者 P
1 <u>①おつかれ(^_^)/</u>  <u>②あのさ急なんだけどさ明日の22時ころひま?(´・ω・`)</u> <u>③寮から家までおくらってほしいんだ(TT)</u>	2 <u>①久しぶり(*^^*)!! (→O 1 ①)</u>  <u>②暇だよー👉(→O 1 ②)</u> <u>③おっけー👈(→O 1 ③)</u>
3 <u>④ありがとー\(^o^)/ (→P2③)</u> <u>⑤たすかる(&gt; &lt;)!! (→P 2 ③)</u> <u>⑥また詳しいこと明日メールするね(^_^) (→P 2 ③)</u>  <u>⑦あと今度一緒に勉強しよー!(&gt;_&lt;)</u> <u>⑧1人じゃ怠けちゃって(T_T)笑</u>	4 <u>④りょうかい(^o^)! (→O 3 ⑥)</u>  <u>⑤やろやろ!! (→O 3 ⑦)</u> <u>⑥私も一緒にご飯食べる人いないと、学校行くの午後からになっちゃったりしてて👉(→O 3 ⑧)</u>  <u>⑦日曜とかやる??</u>
5 <u>⑨ありがとo(^o^)o (→P 4 ④)</u>  <u>⑩だよねー(&gt;_&lt;) (→P 4 ⑥)</u> <u>⑪あっ!いいね! (→P 4 ⑦)</u> <u>⑫午後の一時間くらい用事あるけど大丈夫\(^o^)/ (→P 4 ⑦)</u>	6 <u>⑧じゃあ、9時半か10時くらいから学校でやろう(^o^)👉(→O 5 ⑫)</u>  <u>⑨何時からなら大丈夫??</u>

[話段]

開始部の話段 (O 1 ①) (P 2 ①)

先行発話・先行発話に対する応答の話段 (O 1 ② - P 2 ②)

依頼・依頼応答の話段 (O 1 ③ - P 2 ③ - O 3 ④⑤⑥ - P 4 ④ - O 5 ⑨)

勧誘・勧誘応答の話段 (O 3 ⑦⑧ - P 4 ⑤⑥ - O 5 ⑩)

日程調整の話段 (P 4 ⑦ - O 5 ⑪)

時間調整の話段 (O 5 ⑫ - P 6 ⑧⑨)

この図式から、1メールの中には性質の異なった複数の話段が常に存在しており、同じ性質の話段が複数のメールにまたがって存在する場合があるということが明らか

になる。これは、メール会話におけるターン交替が1送信ごとであるため、1つの話題について複数回やりとりを繰り返さなければならないからである。そしてこのことから、メール会話では常に複数の性質の話段が同時進行で進められていることがわかる。さらに、ターン交替が繰り返されるごとに新たな話段が加わっている。これは、勧誘者と被勧誘者の両者が話段の移行を行っているからである。

この表を、メールが送信された順に左から右へと並び替えると、話段の移り変わりがよくわかる（次ページに挿入した【やりとり12】の連鎖表を参照）。話段の移行は下から上への「押し出し式」になっており、新たな話段はメールの下部分に継ぎ足され、前の話段が終了するごとに上部分へと押し出されている。

このように、1メールの中に複数の話段が混在していることは、手紙の表記に近い。しかし、手紙にはタイムラグがあり、またコピーをしない限り、自分が書いたものは記録として残らない。そのため、返事をするときには相手にどの話題について返答しているのかが伝わるように、主語を省略せずに丁寧に書く。それに対して、メールでは助詞が頻繁に省略され、さらに複数の話段が同時進行で進められているが、このことでメール会話の参加者が混乱を起こすということはなく、やりとりが成立している。これは、「押し出し式」の話段の移行方法が暗黙の了解として慣習化されていることで可能になっていると考えられる。

## 5 まとめ

本研究では、携帯メールによるやりとりに焦点を当て、その談話的特徴と、そこにみられる配慮表現を分析し、話段の移行における「押し出し式」の方法を仮定した。しかし、現在ではtwitterやfacebook、LINEなど、新たなメディアを媒介としたコミュニケーションが出現しており、今後、それらの分析が進むことで、言語学としてだけでなく、社会学や情報モラル教育、道徳教育など、様々な分野に役立っていくのではないかと考える。

## 参考文献

- ザトラウスキー, P. (1993) 『日本語の談話の構造分析—勧誘のストラテジーの考察』 (くろしお出版)
- 三宅和子 (2011) 『日本語の対人関係把握と配慮言語行動』 (ひつじ書房)
- 柳 慧政 (2012) 『依頼談話の日韓対比研究 談話の構造・ストラテジーの観点から』 (笠間書院)

(新潟県三条市立栄中央小学校教諭 平成25年度卒業生)

【やりとり12】の連鎖表

O 1	P 2	O 3	P 4	O 5	P 6
①おつかれ(△△)!	①久しぶり(△△△)! ②暇だよー! ③おっけー!	④ありがとー\ (△△) / ⑤たすかる(△> <!! ⑥また詳しいこと明日メールするね(△△)	④りようかい(△△)! ⑤やるやる! ! ⑥私も一緒にご飯食べる人いないと、学校行くの午後からになっちゃったりしてて	⑨ありがと(△△)o ⑩だよねー(△>_<) ⑪あつ! いいね!	⑧じゃあ、9時半か10時くらいから学校でやるう(△△)! ⑨何時からなら大丈夫??
②あのさ急なんだけどさ 明日の22時ころひま? (△・ω・△)		⑦あと今度一緒に勉強しよー! (△>_<) ⑧1人じゃ受けちゃって(T_T)笑	⑦日曜とかやる??	⑫午後の一時間くらい用事あるけど大丈夫\ (△△) /	
③寮から家までおくてほしいんだ(TT)					

【話段】

開始部の話段 (O 1 ①) (P 2 ①)

先行発話・先行発話に対する応答の話段 (O 1 ②-P 2 ②)

依頼・依頼応答の話段 (O 1 ③-P 2 ③-O 3 ④⑤⑥-P 4 ④-O 5 ⑨)

勧誘・勧誘応答の話段 (O 3 ⑦⑧-P 4 ⑤⑥-O 5 ⑩)

日程調整の話段 (P 4 ⑦-O 5 ⑪)

時間調整の話段 (O 5 ⑫-P 6 ⑧⑨)